

若き天才畫家

土井勇氏個人展

一週間ツル・ベルにて

FEB 23 1929



目下當地に滞在在中なる美術批評家アレキサンダー・ブレキ氏が「布哇が生んだ最も傑出せる畫家」を嘆稱してゐる

加哇出身の若き第二世畫家土井勇氏の個人展覽會が來る廿五日から三月二日までベレタニア街一二四五番ドロシー・

ツル・ベルにて開展される

同氏の作品はオイル、ペインティング、ウツドカット等を含み西洋趣味に神秘的日本氣分を表現せしもので多く創作的個性の現れ濃厚の點で専門家に好評を得てゐる

(寫眞は土井勇畫伯)

インターアイランド籠球試合
 は昨(きのう)二十二日午後二時半バラ
 マ・セツトルメント体育館に
 於て其の第一回戦を行つたが
 ニゲームの結果左の通り
 加哇 五二八 八十二六
 馬哇 八十二八 五三二

個人得點

△加哇 II フェリオ (一六) モン
 トゴメリー (七) プラツクス
 テード (一) スー (二)
 △馬哇 II 柳 (十七) 末崎 (九) デ
 カマラ (四) アラバイ (二)
 ヒロ 六〇 七四 一七
 マ校 六一三 六三二 二八

個人得點表

△ヒロ II チュー (七) アレク・
 ヤング (五) ドツズ (五)
 △マツキンレー II レイモンド
 (十一) チンロー (二) 前出
 (二) サー (六) S キム (三) H
 Y リー (二) 加藤 (二)

マウイ・ハイスクールは第三
 コアターまで敵を押し續けた
 が第四コアターに振はず、一
 方加味は此のピリオドに活躍
 してマウイの五點に對するに
 一點を奪つて力戦したが及

ハイでは左フオワードのフェ
 リオが奮闘し十六點をスコア
 した。ヒロ・ハイスクールは
 マツキンレーに當つて第一コ
 アターに互角の形勢を見せ緊
 つてゐたが、第二コアターに
 なるこマ校の強攻に潰れてス
 コア出來ず、マ校は此の回十
 三點を奪つて勝因を作つた。
 第三、第四コアターでヒロ軍
 善戦したが及ばなかつた。マ
 ツキンレーでは

矢張り

センターで主將
 たるレイモンドの活躍が衆を
 抜いてゐた。ファン可なり多
 く盛況を呈した。本日午後の
 スケジュール左の如し
 □午後二時半 加哇對ヒロ
 □同 三時半 馬哇對マツキ
 ンレー
 後のゲームの勝者がインター
 アイランドのチャンピオンに
 なるのであつてマツキンレー
 が有望視されてゐる